

ココロに ウツクシク

読みたい聴きたい

福岡市の書店「ブックスキューブリック」オーナーの大井実さんに、テーマに沿った本や音楽、ときどき映画をセレクトしていただきます。ジャンルを超えて楽しめるいろいろな作品にぜひ、触れてみてください。
撮影/スタジオパッション

(日本の美を心に宿す)

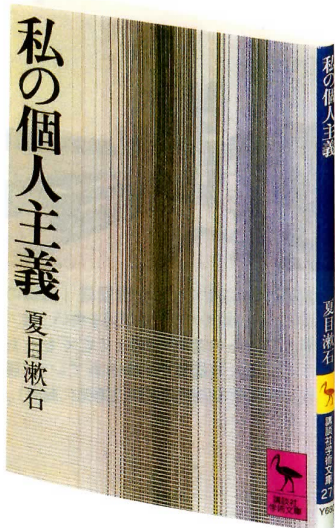
あらためて日本の文化を誇りたくなるような、
心に染みる一冊と一枚。

たとえば、歴史に残る書画や由緒ある庭園に触れても分かるように、和の文化に潜む美とは、視覚で捉える一瞬の素晴らしさだけでなく、作者の想いや当時の時代背景を踏まえればより、本意を理解できると思うんです。そのことを文学に置き換えた時、私が思い浮かべるのが、日本の文豪・夏目漱石の真髓を記した『私の個人主義』という一冊。語りの名手でもあった彼の講演を編集したもので、五つの話が収録されて

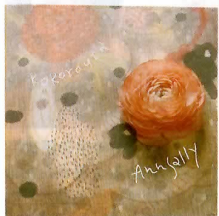
います。中でもお薦めしたのが、表題の「私の個人主義」。教員時代や英国留学経験などから、日本のみならず他国の文化や思想に触れてきた彼ですが、結果的に気づいたのは、思想的に必要なのは、受け売りの価値や評価に左右されるのではなく、自分だけのゆるぎない考えを築くこと。漱石はその概念を「自己本位」と表現し、自らの確信に基づき、人生を強く生き抜く必要性を語っています。彼自身、その考えに辿り着い

た後、作家としてペンをとり、数々の名作を発表したことから分かるように、この思想が創作活動の原動力になったと言ってもいいでしょう。ぜひ、この本で漱石の心の内に流れる根本的な考えや人生の歩みを踏まえ、もう一度彼の作品を読み返してみてください。それはまるで奥深い日本の美に気づいた時のように、

彼が描いた本当の世界を知ることができるとは、素晴らしいことではないでしょうか。そして日本語という言葉に秘められた美しさに心が動かされるのは、アン・サリーのアルバム『Kokorouta』。ひとつひとつの言葉が体に染み渡ってくるような、たおやかで澄んだその歌声は、母親になるといって、人生の大きな節目を経て、優しさと奥行きができました。特に、日本の民謡「椰子の実」と、世界的に有名な作曲家、武満徹の「翼」はぜひ、じっくりと聴いていただきたい名曲です。



「私の個人主義」
夏目漱石
講談社学術文庫 660円(税別)



「kokorouta」
アン・サリー

●ブックス・キューブリック

「品揃えはお客様へのプレゼンテーション」をモットーに、オーナーの大井実さんが選んだ本のみを販売。話題の一冊はもちろん、時代を超えて愛されるような、普遍的な作品を中心に揃えるその姿勢が、本好きからも一目置かれているショップです。
福岡市中央区赤坂2-1-12ネオグランデ赤坂1F
☎092-711-1180 <http://www.bookskubrick.jp>

